

1. 授業の基本情報・概要

対象授業の科目区分: 保育士コース

科目名: 社会的養護 1

担当教員名: 苅田知則・吉松靖文

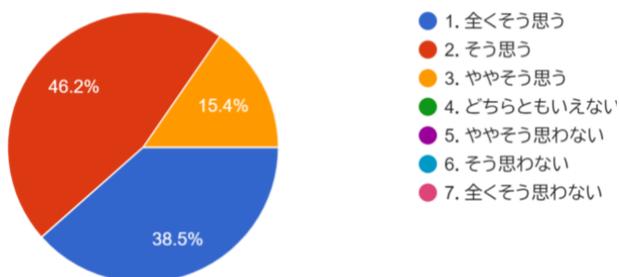
登録学生数: 15 名

乳幼児から高齢者，施設，地域福祉を含めた養護の基本原則を理解し，保育士が施設や地域で活躍する上で有意義な援助ができるような素地を養うことを目的とする授業である。

2. 授業評価・授業研究の内容

最終試験後に授業評価アンケートを実施した。到達目標達成の自己評価を 7 件法による回答とそれぞれの回答の理由の自由記述で求めた。また，授業改善のための提言を求めた
回答者数 13 名。回収率:86.7%。

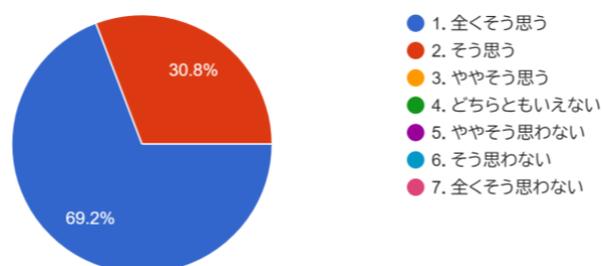
1. 授業に積極的に取り組むことができましたか？



上図のようにすべての回答者が肯定的評価をしていた。「全くそう思う」と答えた者では、「興味のある内容で、実際に施設に行ったり先生の経験談を聞いたりとできたため」など，施設の見学や現場での話を聞くことができたことを理由として挙げていた者が多かった。また，

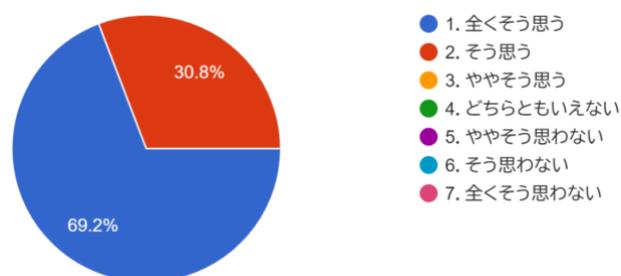
「疑問点を話を聞きながら解決できたから。」など，自身の前向きな受講態度について減給した者も多かった。

2. 授業の内容はあなたの満足のいくものでしたか？



上図の通りすべての回答者が「そう思う」以上の肯定的評価であった。「福祉総合支援センターの方の話を聞き、自分の知らない現実を知ることができたから」「実際にあった例をお話して頂け、教科書や本だけでは分からないことも教えて頂けたから。」など 1. と同様，現場の生の話を聞いたことを理由として挙げている者が多かった。

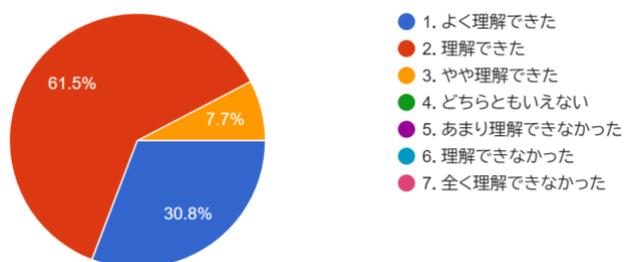
3. 授業の内容はあなたの役に立ちましたか？



上図の通りすべての回答者が「そう思う」以上の肯定的評価であった。「これから保育士になった時に、この場合はどうすればよいかなど対処が分かったか

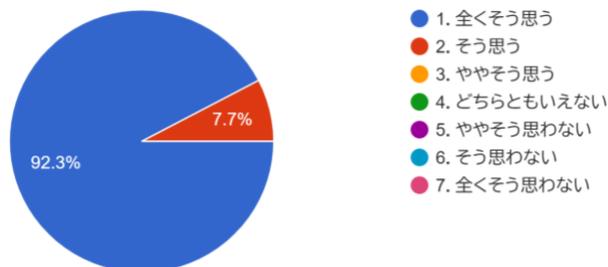
ら。」「社会的養護の知識は、教育に関わっていく上で、大切なことだと感じたから。」など、保育や教育にかかわる仕事をする上で重要であるという回答が多かった。

4. あなたの授業の理解度はどれくらいですか？



上図の通りすべての回答者が肯定的評価をしていた。「具体例等もおりませながら、解説してくださったので、理解しやすかったと感じた。」など、授業者の授業の仕方を評価した者が多かった。

5. 保育や社会的養護の現場で働くことにとって意味のある授業でしたか。



上図の通りほとんどの回答者が「全くそう思う」と回答していた。「保育の仕事はいろいろな状況の子供がいるということ把握しとかなないといけないため。」「今回の授業で学んだことは働いてから知るのでは遅いと思ったため。」など、実際の仕事に就く前に知っておくべき内容であったとする者が多かった。

6. 本授業をより充実したものにするためにどんな授業改善をしたらよいと思いますか。

自由記述で必須の回答項目ではなかったが8名が回答していた。そのうち、授

業改善のための提言としては以下の3県があった。

「時間が短いため仕方ないが、グループで課題を議論し様々な解決法を考えたりすることによってより深く学べると思いました。」

「実際にあったエピソードを増やす。」
「一日に詰めすぎていてしんどかったので、もう少しわけて行くと良いと思う。」
他、5件は、現状のままや特になしとするものであった。

4. 総括

回答者のすべてが、すべての質問項目で本授業を肯定的に評価していた。特に質問5の「保育や社会的養護の現場で働くことにとって意味ある授業でしたか。」では、回答者の9割以上が「全くそう思う」と答えていた。受講生のほとんどが1回生であるにもかかわらず、卒業後の仕事にとって大きな意味があるという評価を得ることができたことは、本授業の意義を受講生に効果的に伝えることができたものと評価してよいだろう。各質問に対する回答の理由を見ると、現場の見学やゲストスピーカーの招聘といった授業の持ち方の工夫や専門知識がまだほとんどない1回生にも分かりやすい授業内容を工夫したことが、このような高い評価につながったことを示唆している。

授業改善の在り方については、無回答も含め多くの者が現状でよいと思っていることを示唆している。一方、改善の提言としては、グループでのディスカッションやさらに具体的な内容を増やしたり内容量の調整を求めたりするものであった。根本的な授業の在り方の見直しは必要はないと思われる。